



日本消費者教育学会

2019年11月6日

## 関東支部ニュース No.1 (2020年度)

関東支部事務局(変更になりました) 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-2  
横浜国立大学教育学部  
松葉口 玲子 研究室内  
TEL 045-339-3463  
jace\_kantou\_shibu@yahoo.co.jp

### 2020年度関東支部総会・講演会のご案内

日程：2019年12月15日(日) 講演会 13:30～、総会 15:15～

場所：東京家政学院大学 千代田区三番町キャンパス 5階 1508教室

〒102-8341 東京都千代田区三番町 22番地 (JR市ヶ谷駅 徒歩約8分)



- ・受付開始: 13:00～
- ・講演会:  
13:30～15:00  
※講演会は、一般無料  
公開・事前登録不要です。
- ・関東支部総会:  
15:15～16:15

### 講演会 13:30～15:00

演題：これからの消費者教育—DESDの経験を活かし、SDGsの本質に向き合う

講師：佐藤 真久 氏 (東京都市大学大学院 環境情報学研究科 教授)

#### <講演概要>

本講演では、まず、持続可能な開発目標 (SDGs:2016-2030)の時代背景と特徴、世界観、近年の日本の動向について述べる。その後、これからの持続可能な社会に向けた担い手づくりにおいて、国連・持続可能な開発のための教育の10年 (DESD:2005-2014)の論点と今後の展望 (ESD for 2030)を述べる。さらに、近年の持続可能な消費と生産 10年枠組み (10YFP) や責任ある生活に向けたパートナーシップ (PERL) などの国際的動向、持続可能な社会に向けたしくみづくり (社会生態モデルや統合的ケイパビリティ) について述べる。最後に、SDGsの本質の振り返り、SDGs時代の“責任ある生活”として、持続可能な社会に向けた担い手づくり/しくみづくりの考察を深める。

#### <講師紹介>

英国国立サフオード大学にて Ph.D.取得 (2002年)。地球環境戦略研究機関 (IGES) の第一・二期戦略研究プロジェクト研究員、ユネスコ・アジア文化センター (ACCU) の国際教育協力シニア・プログラム・スペシャリストを経て、現職。現在、SDGsを活用した地域の環境課題と社会課題を同時解決するための民間活動支援事業委員長、国際連合大学サステナビリティ高等研究所 (UNU-IAS) 客員教授、UNESCO ESD-GAPプログラム (PN1:政策) 共同議長、責任ある生活についての教育と研究のためのパートナーシップ (PERL) 国際理事会理事、JICA 技術専門委員、IGES シニア・フェローなどを兼務。著書に『ソーシャル・プロジェクトを成功に導く 12ステップ』(佐藤真久・広石拓司共著) ほか。

## 関東支部事務局変更・新役員のお知らせ

10月より、事務局が山梨大学（神山会員）から下記の通り横浜国立大学（松葉口）へと変更となりました。ご連絡は下記メールアドレスまでお願いいたします。

<新・関東支部事務局>

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-2 横浜国立大学教育学部 松葉口研究室内

TEL: 045-339-3463 メールアドレス: jace\_kantou\_shibu@yahoo.co.jp

また、新役員は下記の通りです（敬称略） 阿部信太郎、天野晴子、上村協子、小野由美子、柿野成美、神山久美、佐藤麻子、高橋義明、土田あつ子、角田 真理子、中川壮一、中原秀樹、中村年春、西村隆男、樋口雅夫、山岡義卓、松葉口玲子

## 2020年度関東支部会費納入のお願い

よろしく申し上げます

関東支部会員の皆様には学会年会費（学会本部年会費 10,000 円）に加え、**関東支部年会費**として**3,000 円（学生 1,000 円）**のご負担をいただいております。10月1日より2020年度となりましたので、2020年度（2019年10月1日～2020年9月30日）**支部会費の納入**をお願いいたします。支部年会費は、このニュースレターとともに同封しております振込用紙を使って、郵便局でお支払いください（過去の年度に未払いがある場合は、その旨記載しております）。

領収書をご希望の方は、関東支部事務局（E-mail [jace\\_kantou\\_shibu@yahoo.co.jp](mailto:jace_kantou_shibu@yahoo.co.jp)）までご連絡ください。

銀行からの場合は、以下の口座にお振り込み下さい（振込手数料はご負担いただいております。ご了承ください）。

- ・銀行名：ゆうちょ銀行 支店名：〇一九（支店名が「ゼロイチキュー」となります）
- ・口座の種類：当座 口座番号：0665066
- ・口座名称：日本消費者教育学会関東支部

## 本部事務局からのお知らせ

2020年度本部年会費（10,000 円）の請求をいたしました。学会ホームページ右上にある「会員専用ページ」をクリックしてログインいただき、「会費納入」画面からお支払いのお手続きをお願いいたします（会員 ID は学会本部からの郵便物の宛名ラベルに記載があります。パスワードが不明でも ID が分かり、メールアドレスの登録をしていれば、ネット上で確認できます。会員 ID がご不明な場合は、本部事務局（[info@jace-ac.org](mailto:info@jace-ac.org)）までお問い合わせください。詳しくは会報 39 号の最初のページに納入方法が記載されていますので、ご確認ください。

「会員専用ページ」で「クレジット払い」が不都合な場合は、「登録内容確認・変更」にて「コンビニ決済」をご選択いただけます。すでに「コンビニ決済」を選択している方は、近日中に登録住所あてに払込票が届きますのでご利用ください。払込票は、会費収受代行会社「プロアクティブ」から発行され、支払先も同社となりますのでご了承ください（540 円の振込手数料がかかります）。なお本部会費は、郵便振替による納入のお取り扱いを中止しています。

## メールアドレスのご登録やご住所・ご所属等の確認をお願いします

「会員専用ページ」で、メールアドレスのご登録をお願いいたします。学会本部からメールで連絡が送信される場合があります。今年度の会費納入の連絡を本部事務局がメール送信したところ、届かなかった方がいらっしゃったとのことでした。

学会ホームページ右上にある「会員専用ページ」をクリックしてログインいただき、「登録内容確認・変更」をクリックして登録をして下さい（会員 ID は学会本部からの郵便物の宛名ラベルに記載があります。パスワードが不明でも ID が分かり、メールアドレスの登録があれば、ネット上で確認できます。会員 ID がご不明な場合は、本部事務局までお問い合わせください。本部事務局は会報 39 号巻末に掲載されています。ご所属やご住所などの変更がある方も、「会員専用ページ」からご変更をお願いいたします。

## 関東支部監修『新しい消費者教育』第 2 版のご案内

日本消費者教育学会関東支部監修『新しい消費者教育—これからの消費生活を考える—』第 2 版が 10 月に出版されました。環境の新章を加え、SDGs や成年年齢引き下げ、新学習指導要領改訂などを反映した大幅改訂版となります。大学テキストへのご採用、関係の皆様へのご案内などをよろしくお願い申し上げます。

書名：『新しい消費者教育—これからの消費生活を考える 第 2 版』

著者名：日本消費者教育学会関東支部／監修、神山久美・中村年春・細川幸一／編著

出版社：慶應義塾大学出版会

価格：本体 1,800 円（税別）

ISBN：978-4-7664-2633-5

## 第 40 回記念大会（全国大会）のご案内

次回全国大会は、2020 年 10 月 3 日（土）・4 日（日）に中部支部主催・名古屋市の椋山女学園大学星ヶ丘キャンパスに於いて開催予定です。学会 40 周年の記念大会となります。

## 令和元年度「消費者教育フェスタ」開催予定

今年度の消費者教育フェスタが下記の通り予定されているようです。

- 第 1 回 消費者教育フェスタ in 長崎 令和 2 年 1 月 14 日（火）  
開催場所：長崎県総合福祉センター（長崎県長崎市茂里待ち 3-24）
- 第 2 回 消費者教育フェスタ in 香川 令和 2 年 1 月 27 日（月）  
開催場所：サンポートホール高松（香川県高松市サンポート 2-1）
- 第 3 回 消費者教育フェスタ in 福井 令和 2 年 2 月 6 日（木）  
開催場所：福井県国際交流会館（福井県福井市宝永 3-1-1）
- 第 4 回 消費者教育フェスタ in 秋田 令和 2 年 2 月 11 日（火）  
開催場所：秋田拠点センター「アルヴェ」（秋田県秋田市東通仲町 4-1）

学会 HP でも紹介されていますので、詳細はご覧ください。

## つぶやき

元米国副大統領でありノーベル平和賞も受賞されたアル・ゴア氏が立ち上げ、会長を務めるクライメート・リアリティ・プロジェクトによる日本初開催のクライメート・リアリティ・リーダーシップ・コミュニティ・トレーニング\*が10月2～3日に東京・お台場で開催され、参加してきました。

今回の参加者は全体で約800名（応募者はそれ以上）。トレーニングでは、ゴア氏自らのスピーチのほか、内外の第一人者のパネルディスカッションなど、気候変動の状況と対策に対する理解を深めるとともに行動につなげるためのプログラムが提供されました。ここ数年、日本だけでなく世界中で起きている豪雨、洪水、干ばつ山火事等、未曾有の異常気象＝気候危機であることの再認識とともに、その最大の原因となっている化石燃料に対して、世界中が再生可能エネルギーへのシフトを鮮明にしているなか、いかに日本が遅れているか等の課題も鮮明に浮かび上がりました。ちょうど国連気候サミットにおいてグretaさんが強く主張したように、気候危機問題＝我が家が火事になっているくらいの危機感で臨むことの必要性を痛感しただけでなく、サステナビリティを意識したイベント運営（IS020121）など、いろいろ新たな学びがありました。なかでも圧巻は、アル・ゴア氏のパワー！70歳を超えても2時間半立ちっぱなし、休憩もなく演説しまくり、それだけでなく2日間、精力的に登壇されました。



日本では近年、防災教育は盛んになってきましたが、そもそも災害の発生自体を最小限にすることが必要であり、そのために自分にできることは何なのかについて考え、即行動することは喫緊の課題です。その効果が出てくるまでには長い年月がかかるのですから（ちなみに私は、太陽光発電とエネファームのw発電や、地元産直店利用＝スーパー利用ほとんどナシです）。

気候変動対策は、SDGsの17目標の中でも日本は遅れていると評価が下されている分野であると同時に、目標12「つくる責任、つかう責任」とも関わります。10月1日には食品ロス削減推進法が施行されましたが、IPCCも気候変動対策として、食品ロスをあげています。

消費者教育の果たす役割は大きい！ですね。

\*トレーニング修了後、ゴア元副大統領が署名した修了証書を授与され、世界150カ国以上で活躍する約2万人のネットワークであるクライメート・リアリティ・リーダーシップ・コミュニティの正式なメンバーとすることができます。

（松葉口 玲子）